肥

五年

画数 8

筆順 ノ月月月肥

オン ヒ

クン こえ・こ＝える＝やす＝やし

成り立ち

腹の〝肥えた〟人のすがたを表した〝巴〟と、肉体の意味の〝月〟とを組み合わせて作った字です。

「〝肥えた人〟の肉体」という意味の字で、〝肥えている〟という意味を表したものです。例肥満（体）、肥満児。

「土地が〝肥えている〟」という意味にも使います。例肥土、肥沃。

また、「肥やし（肥）」という意味にも使います。例肥料、金肥、追肥、下肥。

使い方

▽ぼくのおかあさんは、肥満体です。いっしょうけんめい体操をしたり、ジョギングをしたりしているのですが、いっこうに肥満が解消する気配はありません。ぼくも、遺伝で肥満児になるのではないかと、心配になりますが、今の所はほっそりとしています。

▽わたしは、おとうさんといっしょに、畑を作っています。肥料をやってから、ナスやトマトのなえを植えました。今度はおとうさんの酒のおつまみに、枝豆を植えるつもりです。

熟語例

▽肥満（体が太っていること。）

▽肥満児（太った子ども）

▽肥土（よく肥えて、作物がよくできる土地）

▽肥沃（土地がよく肥えて、作物がよくできること。）

▽肥料（土地を肥やすために、畑にまくもの。化学肥料や堆肥などがあります。）

▽金肥（お金を払って買う肥料。化学肥料のこと。）

▽追肥（あとからやる肥料。種をまいたり、移植したりした後からやる肥料を言います。）

非

五年

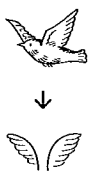
画数 8

筆順 丿 ⺈ 非 非

オン ヒ

クン

成り立ち



鳥のつばさの形を表した字です。

つばさは、左右反対に開きますので、〝反対〟という意味を表したものです。

それで、「……でない」という意味を表す時に使います。例非常、非人、非凡、非公式。

「良くない」という意味にも使います。例非行、前非、是非。

また、〝誹（そしる）〟という字の代わりに使います。例誹難→非難。

使い方

▽わたしのおかあさんは、非常に絵が上手です。毎日アトリエで絵をかいています。展覧会を開いたこともあって、非凡な絵だとほめられました。

▽ぼくの友だちに、非行少年がいます。品物を万引きしたり、なかまをおどしてお金をとったりするのです。その子も前にはそんなことはしなかったのですが、どういうわけか、非行に走ってしまったのです。ぼくは、その子が前非を悔いて、前のようなふつうのなかまにもどってくれれば良いのだが、と思います。

熟語例

▽非常（ふつうでないこと。たいへん）

▽非人（人間でない、という意味。化物や鬼などのこともさしますし、昔、罪をおかしたりして、いやしい仕事についていた人をさすこともあります。）

▽非凡（平凡でないこと。非常にすぐれていること。）

▽非公式（公式でないこと。「これは非公式の発表ですが……」などというふうに、つかいます。）

▽非行（良くない行い）

▽前非（前にした悪い行い）